



□ 藤宮神社と筒がゆ神事
昔、ここに藤の大木があり、この藤の花を愛した神が木を伝わって降りてきたことから、村人はここに社を建て藤宮と名付けたと伝わっている。毎年1月15日の早朝に行われる「筒がゆの神事」は、小豆粥の中に入れた葷筒を取り出し、中に入った米粒の歩合により、1年間の作柄と天候を占うというもの。